

区民の声が 区政を動かす!

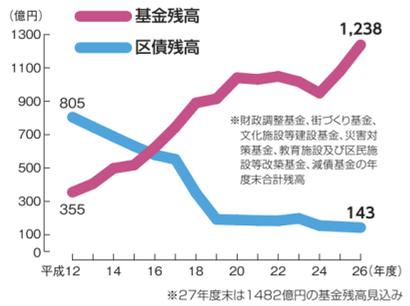


期待される 新たな事業

過去最高 更新

1482億円の積立基金を 区民の福祉に!

江戸川区は、住民税・地方消費税などの増収増や財政調整交付金の増収などにより、27年度末時点の積立基金は、これまでの過去最高をさらに更新する約



1482億円に上ります。

●名称変更、基金の再編

積立基金の名称も、「文化施設等建設基金」を「大型区民施設及び庁舎等整備基金」に変え、JR小岩駅周辺の街づくりも推進する基金としました。

積立額も「大型区民施設」と「JR小岩駅」にそれぞれ約100億円など、合計約266億円をこえる基金を積み増ししました。

●一方で福祉切り捨てや人件費抑制

一方、区が財政難を理由に、「23

ワーキングプアなくす区政に!

公の施設の管理運営を、民間企業などに委託する指定管理者制度が実施から10年がたち、各事業の民間委託・業務委託も進み、正規職員削減による「財政効果」が強調されてきました。しかし、「財政効果」は、その一方で、ワーキングプアと呼ばれる働く貧困層を広範に生み出してきました。

●改善図る

「公契約制度」都内で前進

非正規雇用が4割にも上る社会が、「子どもの貧困」をはじめとする相対的貧困率を高める要因の一つともなっています。指定管理者制度や公共工事などの区の契約において、人件費の下限を、区の定める賃金や設計

●賃金の下限定め待遇改善を

本区においても「公契約制度」の検討や、指定管理者のアルバイトなどの時給をせめて区の臨時職員の時給を下限とすることなど、待遇改善を図る姿勢が強く求められます。

動物園飼育員 4月以降も雇用継続

年間53万人もの来場者がある行船公園内の自然動物園(えどがわ環境財団運営)。そこで働く飼育員の大半は非正規で、この3月の契約終了とともに雇止めとなることが危惧されていました。昨年の議会で、わが党は「飼育員を路頭に迷わすことは区民にとっても重大な損失」と雇用の継続を要求。2月の選考の結果、4月以降も継続して雇用されることが決定しました。今後は、近隣自治体の動物園同様に、飼育員の正規雇用化が求められます。

日本共産党江戸川区議員団 法律相談



セバタ 勇 区議地域
●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/セバタ事務所

法律相談 ●4月21日(木)・5月19日(木)
受付:午後6時半~8時
ブログ <http://sebataisam.exblog.jp/> FBは瀬端勇で検索を



小俣 のり子 区議地域
●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小俣事務所

法律相談 ●4月13日(水)・5月11日(水)
受付:午後6時半~8時
ブログ <http://omatanorik.exblog.jp/> FBは小俣のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域
●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所

法律相談 ●4月6日(水)・5月11日(水)
受付:午後6時半~8時
ブログ <http://ohashijcp-tokyo.jp/blog/>



須田 哲二 区議地域
●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/北小岩コミュニティ会館・集会所6

法律相談 ●4月6日(水)
午後6時半~8時/船堀勤労福祉会館和室
4月19日(火)
午後1時半~3時半/江戸川コミュニティ会館
FBは須田哲二で検索を



牧野 けんじ 区議地域
●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/北小岩コミュニティ会館・集会所6

法律相談 ●4月27日(水)午後2時~4時
5月25日(水)午後1時~3時
ツイッター @kenji_makino FBは牧野けんじで検索を

各区議事務所・区議団控室では 常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113 (控室)

新年度の予算を決める第1回定例会議事が終わりました。予算には子どもの貧困対策や区民のくらしをささえる新たな施策が含まれています。これらの施策は、区民のみならずとも、日本共産党5名の区議団がねばりよく議会でとりあげてきたものです。

ついに実現! 認証保育所保育料補助

●年収300万円以下・月25000円
●年収500万円以下・月15000円

所得の少ない世帯への援助をするということで、4月から実施。しかし、この所得制限に対し、「私の世帯は該当しない。もともとゼロ歳児を預けるところが少ないのだから全員を対象にして

ほしい」(31歳・1歳児の母)との声が届いています。日本共産党は、一日も早く実施をと10年来要望し前定例会で補助金条例を提案しました。内容の充実のため引き続き提案を続けます。

「妊婦全数面接」と

「こんにちは赤ちゃん事業」

母子手帳を申請する時、健康サポートセンターで保健師さんと面接し、妊娠・出産の心配なことを相談できます。面接後は妊婦さんに商品券のプレゼントもあります。赤ちゃんが誕生したら、なんでも相談できる自宅への訪問活動も全員対象となりました。



妊娠・出産から子育てまで、すべての母子を支援するしくみが始まります。

多様な子どもの学習支援(詳しくは2面)

人育成・養成を図るために、介護福祉士養成施設の学生に対して給付金を支給。一人年60万円50名対象。卒業後、区内の介護事業者に5年間継続して就職

介護福祉士奨学金制度など4月開始

することが条件です。東京都の奨学金制度と併用できます。同時に、介護職員初任者研修助成金(一人10万円・100名対象)も始

学童クラブの 補食が復活!?

この春休みから、各小学校の学童クラブで、「保護者の責任による補食の持ち込み」が開始されました。

2013年の3月末に廃止されて以来、「子どもにひどい思いをさせないで」という保護者からの切実な願いが届き、3年ぶりに学童で補食(おやつ)が食べられるようになったことは、重要な一歩前進です。

しかし、補食の実施にともなう予算や人員増の措置はなく、提供時間も17時以降となると大半という状況です。また、現時点では補食を「実施しない」とした学童クラブもあり、課題を残してのスタートとなりました。



学校図書館司書とスクールソーシャルワーカー(2名)の配置

子どもたちが心豊かに成長するためにこの間一貫して司書の配置を求め、ついに実現。しかし、民間への業務委託で小学校10校に週2日配置です。全校配置と直

接雇用が一日も早く必要です。スクールソーシャルワーカーは問題を抱える子どもや家庭をささえ、必要な支援につなげる新しい職種です。その活動が期待されます。

窓口「ひとり親家庭のしおり」と「つなぐシート」を

ひとり親の子どもの貧困率は高く子育て支援が待たれていません。「ひとり親家庭のしおり」の配置場所を共産党が提案し22ヶ所に増やしました。様々な相談

窓口をつなげる「つなぐシート」も検討がすすんでいます。6月からはひとり親専用窓口も開設します。